

予算第1特別委員会

サニックススポーツ

振興財団貸付事業費

5億円

予備費に組み換える
修正案を可決

29年度一般会計予算の審査を行った予算第1特別委員会では、財団法人サニックススポーツ振興財団（以下、「財団」）への貸付金として計上された5億円の事業費について、長時間にわたり活発な質疑が行われました。質疑後には、貸付事業費全額を予備費に組み換える修正案が提出され、賛成多数（賛成6・反対2）で可決し、29年度当初予算では、貸付を行わないこととなりました。討論では、発言をした8人の委員から、さまざまな意見・要望が出されました。

サニックス
スポーツ振興財団
貸付事業費
(5億円)

財団が株式会社グローバルアリーナに管理委託している、多目的スポーツ総合施設グローバルアリーナ（以下、「GA」）の新たな宿泊棟建設について、その事業を支援するため、市が財団に事業費の2分の1である5億円を無利子で貸し付けるものです。

修正案の提案

委員会の中で、財団への貸付金5億円については妥当ではないと判断されるという理由で、全額を減額して予備費へ組み換える修正案の提案が委員から出され、賛成多数で可決されました。

委員の意見・要望

(修正案に賛成)

本市の最高意思決定機関である庁議に諮ることなく、市長、副市長をはじめとする少数の職員で構成する都市戦略会議で、議事録も残さず意思決定を行ったことは問題だ。銀行の融資は調整がつかなかったことも明らかになり、市が貸付を行うリスクが大き過ぎるため、市民の理解は得られない。

これからの時代は、市が実情に合わせて判断を行うべきであり、民間企業に貸付をすること自体は否定しない。しかし、前例がないからこそ慎重な判断が必要。公益性が大きな議論となったが、その基準はつきりせず、まだ多くの議論の余地がある中では、貸付に賛成できない。新棟の建設着工に間に合う時期までに十分な議論の場を設けることができれば、より前向きな検討ができたのではないかと。

貸付については公益性があることから、他の方法で資金調達に関する支援をする選択肢もあったと考えるが、今回の説明では納得するには至らなかった。今後、再度予算を提案することがあれば、専門家や市民公募の委員で構成する審議会ですら十分議論、検討をしてほしい。

(修正案に反対)

庁議に諮ることなく、貸付予算の提案をしているが、本来は民主的な議論を経て議会への提案をするべきである。都市戦略室と庁議との間の機能的な問題は、執行部にしっかり考えて欲しい。銀行の融資は調整がつかなかったという経緯もあり、自治体が行う融資として誰が責任をとるかも明確である。財団は収入のほとんどを株式会社サニックスからの寄附に頼っている状況から考えても、この貸付は妥当ではない。

GAの公益性は非常に高く、新棟を建設することで、さらなる価値を本市にもたらす。貸付予算を提案するまでの意思決定などに問題はあったが、ビジネスチャンスを逃さないために、今までは違うスピード感も必要。GAは採算を考えず、青少年育成のためにつくられた施設である。銀行からの融資は受けられなかったが、市がGAには価値があると判断し、特別なルールで貸付を行うことは妥当である。土地などリスクの少ない担保もあり、ラグビーワールドカップキャンプ地誘致などの時代の流れに乗った、青少年育成などの大きなリターンを得られる投資である。今のまま何もしないのもリスクであり、今は思い切った投資をするための分岐点である。

GAの事業は、日本全体にとって価値がある。本市が日本をリードする存在になるといつ波及効果を生むことから、大きな公益性があると考ええる。

この短期間で、貸付について判断するのはあまりにも無謀である。委員会では市長、担当者から説明を受けたが納得のいくものではなかった。庁議などで十分議論されていないことも明らかになり、市民目線を大切にすると約束した議員として、責任を持ってこの貸付予算を認めることは到底できない。

主な質疑

問 この貸付は、市の最高意思決定機関である庁議に諮って決定された

答 ではないのか。要点筆記や会議録はないのか。

問 貸付については、庁議には諮っておらず、市長からの特命事項に迅速に対応するために設置されている都市戦略会議で決定された。都市戦略会議で協議した項目は記録しているが、会議録などはない。本市はラグビーワールドカップのキャンプ地誘致にも取り組んでおり、市の未来への投資として貸付をする判断した。

問 財団に貸付をする公益上の必要性をどのように位置付けているのか。

答 財団が営利を目的とした組織ではないこと、特に青少年のスポーツ分野で、市に多大な貢献をいただいていることから、公益上の必要性がある判断している。

問 何をもとにして、貸付の判断を行ったのか。

答 株式会社グローバルアリーナから提出された将来の事業計画を、公認会計士、税理士などの意見を聞きながら評価し、判断を行った。また、簿価14億円の土地を貸付の担保とする予定である。

問 市長は、貸付は市の未来への投資だと説明したが、投資のリターンは何だと考えるか。

答 子ども引率者、高齢者、障がい者、トップアスリートの宿泊に関する現状の課題に対応できることなどである。

問 財団は銀行に融資の相談をしたのか。

答 融資の相談はしたが、利率や期間などの条件が整わず、融資の話はまとまらなかったという。



GAでの青少年ラグビー大会の様子



グローバルアリーナ

地域の子どもの豊かな体づくりを図り、スポーツや文化を応援するために設立された財団法人サニックススポーツ振興財団の活動を支える総合的なスポーツ・文化施設。スポーツの国際大会や交流をテーマにした催しや文化イベントが開催されている。

予算第2特別委員会

平成29年度特別会計・公営企業会計予算を可決

特別会計

230億2035万円

公営企業会計

41億6779万円

国民健康保険特別会計

国民健康保険税のうち介護納付金分について、介護保険第2号被保険者(以下「2号被保険者」)数の減少により、所得割の率を0.3%、均等割額を300円引き上げる改定を行う。



2号被保険者数の減少は社会的な要因であるため、財源の不足分は政策的な判断により市が補てんすべきではないか。

国民健康保険だけでなく、他の健康保険の2号被保険者にも負担があり、国民健康保険だけ手厚くすることはできない。今回の改定は国民健康保険法の規定に沿ったものである。

一人当たりの医療費が増加している要因は、高額薬剤の使用されるようになったこと、医療の高度化、高齢化などが考えられる。

一人当たりの医療費が増加している要因は、高額薬剤の使用されるようになったこと、医療の高度化、高齢化などが考えられる。

渡船事業特別会計

28年度から29年度で新船の建造事業を行っており、29年度はそのうち4割の予算を計上する。



主な質疑

世界遺産登録による観光客増加の対応策は、適宜、業務体制の見直しを行い、補正予算で対応していく。

提出議案と議決結果

3月定例会で審議し、同意、可決した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

Table with 2 columns: 議案名, 内容. Lists '宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例' and '宗像市大島交流館条例の制定'.

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Large table with columns for 議案名 and 議員氏名 (岩岡良, 上野崇之, etc.). Shows voting results for various budget items.

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。

宗像市議会 検索



ホームページQRコード

お問い合わせは 議会事務局へ Tel.0940(36)1119

平成28年度 政務活動費収支報告書を 6月中旬 公開します

政務活動費とは議員の市政に関する調査研究、その他の活動に必要な経費として交付されるものです。宗像市では、議員個人に月額2万2千円(年額26万4千円)を交付しています。

収支報告書の閲覧の方法

- ①議会のホームページで閲覧する
②市役所3階の議会事務局で申請をして閲覧する。



※予算第1…一般会計
※予算第2…特別会計・企業会計

Table with columns for date (27, 22, 21, 20, 19, 16, 15, 14, 13, 9, 8, 6/2) and content (疑、討論、採決, 本会議(委員会報告、質), etc.).

6月定例会の (予定) 日程

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
請願の提出締切日は5月26日(金)です。
本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。



会派の主張

会派とは、市政に対して同じ考えを持った議員の集まりです。

宗像市議会には、平成29年4月1日現在で、9つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

※宗輝会(平成29年3月24日発足)については8ページに掲載

宗像志政クラブ

代表 伊達 正信

市民の声を聞き、 未来志向の 会派を目指す

今年「神宿る島」宗像、沖ノ島と関連遺産群の世界文化遺産登録可否が決定し、三大行幸啓の一つである豊かな海づくり大会が行われる年でもあります。私たちは議長を擁する8人の最大会派としてこの時流を生かして未来の宗像を創る責任を果たし、後世に継承してまいります。

本市の、世界に羽ばたく子どもを育成するグローバル人材育成事業は未来への投資です。過日ご逝去された宗政伸一氏が80億円もの私財を投じたグローバルリーナの理念はこの事業を先行する貢献といえます。この想いを受け継ぐべく、力を注いでまいります。

また、若者が理想と希望を抱き、この輝かしい郷土の歴史文化の中で温かい家庭を築いていけるよう住宅・雇用・所得・早婚化政策などの実現に向け大胆に挑戦してまいります。併せて、子どもは国の宝、高齢者は国のかみです。充実した子育ての環境整備と高齢者の医療・介護の充実に努めてまいります。

これからも郷土への誇りと未来への夢を抱き、さらなる発展を目指し、前を向いた建設的な会派を目指します。



【後列左から】小林栄二議員、井浦潤也議員、吉田剛議員、井上正文議員、森田卓也議員
【前列左から】神谷建一議員、伊達正信議員、花田鷹人議長

市民連合

代表 福田 昭彦

健全財政維持のため 行財政改革を推進します

市民連合はこれまで2人の議長を輩出し、宗像市の行財政改革や議会改革を中心となって推進してきた会派です。ところで3月議会の争点であったサニックススポーツ振興財団への5億円の融資が中止になったことは本市にとつて甚だ残念なことでした。これまでも財団が市に支払った固定資産税だけでも約8億円、160人の従業員の雇用を含めた経済効果は年間で約7億円です。スポーツを通して国際交流事業を市に代わって担っていただいた同

財団の多大なる功績は計り知れないですが。



福田昭彦議員

ふくおか市民政治 ネットワーク

代表 笠井 香奈枝

子育て・介護を

ひとりぼっちにしないまちに

ふくおか市民政治ネットワークは、26年前から女性を市議会に送り続け宗像市を「住みたいまち」にするため活動しています。何よりも「いのち」が最優先にされ、子どもたちの未来に責任が持てる社会を目指しています。

私たちは、宗像市を、子育て・介護などで孤立することなく誰もが安心して住み続けられるまちにしたいと思っています。

議会で得た情報を公開し、市民のみなさんの声を聴き、一緒に考えてい

ます。今後も暮らしと議会をつなぐ市民目線で活動を進めていきます。



笠井香奈枝議員

日本共産党

代表 末吉 孝

市民に寄り添う 市政実現をめざして

安倍政権の暴走政治に国民の怒りが高まり、最近ではモラルハザード（倫理喪失）政権の実態が明らかになっていきます。自衛隊の南スーダン派兵問題では、戦闘の実態を記録した「日報」を「破棄した」、森友学園問題では、国有地の異常な払い下げについての「交渉記録は破棄した」と答弁するなど、都合の悪い情報は闇に葬り、国民の知る権利を奪っています。この暴走政治を変えたいと、市民と野党の共同の動きが全国で広がっています。今その「要（かなめ）」の役を期待されているのが日本共産党です。

新留・植木・末吉の3人の市議団は、いずれもベテラン議員ですが、常に初心に立ち返り、市民要求を実現し、住民が主人公となる市政、一人一人の市民が大事にされる市政実現を目指して頑張ります。



【左から】末吉孝議員、新留久味子議員、植木隆信議員

公明党

「市民目線・生活者視点」で市政をチカラ

代表 石松 和敏

公明党は、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との立党精神を堅持し、住民福祉の実現を目指し活発に活動を展開。3年前には結党50年の佳節を迎え、特に平和・福祉・環境に関する政策に長けたクリーンな政党として、どこまでも住民の側に寄り添っています。

私たち議員は、庶民の代表として、「市民目線」「生活者の視点」を信条に地域や市民の中に入り「生の声」を聞くことにより、地域に根を張ることを目指しています。市政に数多くの政策提言を行い、多くの成果が実現。プレミアム付き商品券、学校トイレの改修、乳幼児医療費無償化拡充、シエネリック医薬品の推進などです。

今後とも是非々の立場から、市政運営をチエックする役割を十分果たしてまいります。



【左から】岡本陽子議員、石松和敏議員

とびうもくクラブ

「元気なまち」「元気な市民」のために

代表 北崎 正則

私たち、とびうもくクラブは、超提案型な行動力を誇る安部芳英、熱き想いで直球勝負の北崎正則、2人の会派です。私たちは、市民目線・市民感覚を大切にしながら、まずは、聴かせていただき、次に解決に向けて知恵を絞り出し、その策を市政へと提案させていただくプロセスを大切にしております。

主な取り組みは、

- スポーツと健康（健康づくりの推進）
- 観光と地域産業の活性化
- 世界遺産登録や道の駅の充実、農業、漁業の支援など
- 教育の充実を目指す

（学習支援体制や特別支援教育の推進）です。

今後とも会派としての地域座談会、各種団体との意見交換会、視察研修などを通して、積極的に取り組んでまいります。



【左から】安部芳英議員、北崎正則副議長

日本維新の会

代表 岩岡 良

「強く自立した宗像」を築く

日本維新の会は「個人・地域・国家の自立」という政治理念のもと、2012年に結党。統治機構改革により、地方のことは地方が決める真の地方分権の実現を目指し、地方から国を変えてまいります。

私たちは選挙の時だけ聞かせるの良ことを訴えることなく、「逃げずに真正面から」常に是非々の立場を貫きます。

未来に負担を先送りせず、本来に必要な支援を可能とするため、限りある財源の使途を厳しく監視し、徹底した行財政改革に挑んでまいります。



岩岡良議員

市民自治の会

代表 上野 崇之

市民と議会がつながる対話と自治のために

民主主義の制度と実践の間には溝があります。地域社会のルールや予算について、みんなが直接参加して決定・実行していくことが理想だと、仕事や家事などで関われない人も多くいます。

そんな人々に代わって議会が決めていく代議制は、溝を越える方法ですが、それだけでは溝が埋まりません。まずは市民と議会が対話し、つながること。その過程で多様な意見や人間関係の溝を埋めて、協力・共生していくこと。市民自治の会では、そうした実践を重視しています。



上野崇之議員